

## 1 教育の諸課題

- (1) 小中学校の教室に早期にエアコン設置を。

最高気温が連日30度を大幅に超える記録的猛暑となっている今年の夏、文部科学省は、全国の公立小中学校のエアコン設置率を公表している。普通教室で49.6%、特別教室で34.6%とのことである。静岡県は公立小中学校の設置率が12.5%にとどまり、全国平均を大きく下回っている。教育委員会によると磐田市では小中学校の普通教室のエアコン設置率は2.4%、特別教室15.8%、管理諸室は20.5%となっている。磐田市は平成33年4月の整備完了を目標としているが、記録的な猛暑が続く中、子どもたちの命と健康を守るために早期に設置する必要があると考える。

- ① 学校現場において教室の温度等の調査を行っていると考え。調査の状況を伺う。
- ② 設計、施工、維持管理を一括にて行うDBO方式やリース方式など様々な整備手法がある。磐田市としての整備手法、事業費について伺う。
- ③ 富士宮市や焼津市、掛川市など来年6月をめどに市立小中学校の全普通教室にエアコンを設置する方針を示していると報道されている。磐田市は平成33年4月の整備完了を目標としている。市民からもっと早く整備できないのかという意見が出されている。市が検討している設置スケジュールと整備完了時期を早めることについての見解を伺う。
- ④ 文科省では「学校施設環境改善交付金」という補助金制度によって、エアコンの整備を推進している。この交付金は空調整備事業に対して原則として工事費の3分の1を補助するというものである。その他の3分の2については自治体の予算から捻出する必要がある、実際に設置できる教室には限度があるというのが現実のようである。補助金制度利用など財源確保策について見解を伺う。

- ⑤ 新学期が始まり、暑さで体調を崩した子どもがいたと保護者から伺っている。状況と対応を伺う。
  - ⑥ 災害などの非常時に地域住民の避難所として使用される小中学校の体育館は、重要な施設となる。体育館へのエアコン設置についての見解を伺う。
- (2) 市内の保育園ではすべての保育室でエアコン設置が行われている。一方、幼稚園・こども園の保育室のエアコン設置状況率は幼稚園で85.7%、こども園は86.4%とのことである。まだ設置されていない施設は、そう多くはない。子どもたちの命と健康を守るために早期に設置する必要があると考える。見解を伺う。
- (3) 「子どものランドセルが重く腰痛になり医者に通っている。教科書を学校に置いていくなどの改善をしてほしい」との保護者の意見が寄せられている。子どものランドセルなどの負担軽減策を検討すべきだと考える。見解を伺う。

## 2 防災対策の強化を

- (1) 大阪府北部地震でブロック塀の倒壊に巻き込まれて通学中の4年生の女儿が死亡した事故を受けて、教育委員会が小中学校のブロック塀等の緊急調査を行い、撤去または改修している。
- ① この間の小中学校での対応状況と今後の課題について伺う。
  - ② 通学路でのブロック塀等の調査の状況と対策、今後の課題について伺う。
- (2) ブロック塀の倒壊に関して市民の関心も高まり、通行人などへの危害や緊急車輛の通行に支障とならないようにするため、ブロック塀などの撤去や改善などを行おうとする市民が増えていると考える。
- ① 危険なブロック塀の現状と市民の動向をどう把握しているか伺う。
  - ② 危険なブロック塀などの撤去、改善費用の一部を助成する制度があ

る。制度の周知と利用状況、拡充策について伺う。

③ 磐田市では助成制度を受ける場合、塀をすべて撤去する必要がある。浜松市では、幅員4m以上の道路沿いで、高さが80cm未満、またはブロック塀の場合は2段以下のものは残すことも可能である。全部撤去すると土が流れるなど問題があり、2段ぐらい残してほしいとの意見がある。検討すべきと考えるが見解を伺う。

④ 以前制度としてあった、生垣への造り替え費用の一部補助の復活について見解を伺う。

(3) 市内小中学校など47カ所の施設で給水タンクが配置されている。

① 配置場所の中には閉園となった福田中幼稚園などがある。給水タンクはどのように管理されているのか伺う。

② 給水タンクのある施設は避難所ともなっている。避難所であっても給水タンクが配置されていない施設もある。配置すべきと考えるが見解を伺う。

(4) 大阪北部地震では、被災された多くの世帯が一部損壊であった。地震保険に入っているにもかかわらず一部損壊では支給されないなど生活再建に困っているのが実態である。義捐金も亡くなられたご遺族、全壊、半壊世帯で、一部損壊世帯の場合は障がい者手帳所持者がいる世帯とのことである。一部損壊の世帯には支援の手が届いていないのが実情である。地震などの災害は、いつ起こるか分からないが、事前に生活再建のための支援策を検討しておく必要があると考える。見解を伺う。

(5) 西日本豪雨災害では、土砂崩れや河川堤防の決壊などによる大規模な被害が多く見られた。市内における土砂災害の危険箇所や河川堤防などの点検や対策がどのように行われているのか伺う。

(6) 西日本豪雨災害では、断水が長期に続き給水車などの出動が多く見られた。災害に備え、給水車を増やす考えはあるのか伺う。

(7) 磐田市原子力災害広域避難計画の策定状況を問う。

① 広域避難計画における避難先の岐阜県、石川県の市町との話し合いはどこまで進んでいるのか伺う。

② 各町内ごとの避難先の市町が決まっているのか伺う。また、今後避

難先との顔の見える関係をどうつくるかが課題と言うことだが、具体的計画があるのか伺う。

- ③ 要配慮者施設の避難計画は、県からマニュアルが示されてから施設の管理者が作成していくとのことである。マニュアルは示されているのか伺う。